

科目名	医療セーフティマネジメント学特論		D3-202	担当教員名	江原 一雅
単位数	2単位		必修	配当年次	1年次・第1 Semester (通期)
曜日・時限	土曜日・3限目		教室	視聴覚大講義室	
授業概要	医療安全のヒューマンエラー、ノンテクニカルスキル、チーム医療の醸成、医療安全の質の向上など基本的な考え方を学ぶ。医療事故発生後の対応、エラー分析の基本、安全教育についての考え方や手法を学ぶ。また、講義には医療リスクマネジメント学と併せて医療安全管理者として指導的立場を取り得る内容も含まれる。				
到達目標	安全で質の高い医療を目指すために、医療事故やエラーを防止することが重要である。 1) 医療安全の基本的考え方を習得する。医療事故、医療やエラーの発生要因及び背景要因を科学的に分析できる。 2) 組織の中で再発防止策を策定することができる。 3) 医療機関の医療安全の指導的立場として、安全文化の醸成や組織改革、医療安全教育を医療機関の指導的立場や教員として教育できる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	4/10	医療安全の基本 安全文化の醸成	医療安全に対する基本的考え方、医療事故の用語の定義、医療事故の発生や再発防止が効果的に行われる体制の確立 [グループディスカッション]		○
2	4/17	ヒューマンエラーと背景 因子	ヒューマンエラーとは、その背景となるヒューマンファクターの認知心理学的アプローチと防止策 [グループディスカッション]		○
3	4/24	ノンテクニカルスキルと チーム医療	ノンテクニカルスキルとチーム医療の向上のためのスキルアップ法について学ぶ。 [グループディスカッション]		○
4	5/1	医療安全の質向上	エビデンスに基づいた医療安全の質向上とPDCAサイクル [グループディスカッション]		○
5	5/8	医療事故発生時初期 対応	医療事故発生後の初期対応、現場保存、報告、患者対応の方法について学ぶ。		
6	5/15	エラー分析法(1)	インシデント事例の問題点の抽出と対策立案 [演習] [グループワーク]		○
7	5/22	安全管理教育法	医療安全のための職員研修の企画を立案する。		
8	5/29	安全管理体制	職種横断的組織の構築、院内安全管理体制の構築		
9	6/12	エラー分析法(2)	根本原因分析グループワーク、再発防止策の立案(その1) [演習] [グループワーク]		○
10	6/19	エラー分析法(3)	根本原因分析グループワーク、再発防止策の立案(その2) [演習] [グループワーク]		○
11	6/26	エラー分析法(4)	根本原因分析グループワーク、再発防止策の立案(その3) [演習] [グループワーク]		○
12	7/3	医療安全の新しい考え 方	医療安全の最新の考え方を学ぶ。(特別講師:中村京太) [実務家による授業]		○
13	7/10	エラー防止各論(1)	医療機器関連エラー、手術・侵襲的処置エラー		
14	7/17	エラー防止各論(2)	転倒・転落、急変対応		
15	7/24	エラー防止各論(3)	薬剤関連エラー、全体総括		
キーワード		医療安全、ヒューマンエラー、ノンテクニカルスキル、チーム医療、医療の質	履修条件	なし(必修)1年次履修が望ましい	
教材等	教科書(要事前購入)	WHO患者安全カリキュラムガイドライン多職種版(Webから各自ダウンロード)			
	参考書(任意購入)	講義において紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①レポート(70%)、②グループ演習評価(30%)、再試1回 [医療機関において、事例の対応能力、組織の安全に関する正しい考え方が身についているかを重視。]			
授業時間外に必要な学修		教科書の内容を理解すること。事前に講義資料は配布。自施設での状況を把握し、授業の内容をどのように活かすか、教科書も参照し整理すること。			
学生へのメッセージ		医療事故・エラーの分析やエラー防止策の立案と評価が論理的に企画、遂行できるような指導的人材を育てたいと考えている。 授業時以外に質問がある場合は、メールにて受け付けます(k-ehara@ghsj.ac.jp)。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。